

## 関節受容器の分類 (by Wyke)

	Type I	Type II	Type III	Type IV
形態学 Morphology	薄い被包性の球状の小体 (100 $\mu$ m $\times$ 40 $\mu$ m) 3-8 のブドウの房のようになっている。 ルフィニ小体様	厚い被包性の円錐型の小体 (280 $\mu$ m $\times$ 120 $\mu$ m) 個々もしくは2-4の小体  パチニ小体様	薄い被包性の紡錘形の小体 (600 $\mu$ m $\times$ 100 $\mu$ m) 個々もしくは2-3の小体  ゴルジ腱器官様	(a) 無髄神経線維の叢 (b) 無髄神経終末
局在 Location	関節の線維膜の浅層 四肢：近位 > 遠位 脊椎：頸椎 > 腰椎	関節の線維膜のより深い滑膜 下層 関節の脂肪組織 四肢：近位 < 遠位 脊椎：頸椎 > 腰椎	関節靭帯の表面 (側副または内在)	関節の線維膜 関節の脂肪組織 関節の血管の内膜の鞘
神経線維 Parent nerve fiber	小さい有髄線維 (6-9 $\mu$ m)	中間の有髄線維 (9-12 $\mu$ m)	大きな有髄線維 (13-17 $\mu$ m) 伝導速度：速い	とても小さな有髄線維 (2-5 $\mu$ m) もしくは無髄線維 (< 2 $\mu$ m) 一番細く遅い
活動の特徴 Behavioural characteristics	静的と動的な機械的受容器： 低い閾値，ゆっくり順応  Arthrostatic reflex Arthrokinetic reflex	動的機械的受容器： 低い閾値，速い順応  Arthrokinetic reflex	動的な機械的受容器： 高い閾値，ゆっくり順応 刺激は入りにくい	侵害受容器： とても高い閾値，順応しない 化学的侵害受容器 (異常な組織の代謝産物) 痛みを感知